



# ちばの学童保育

2014年9月31日発行102号

本号の紙面	
全国指導員学校報告	1頁
情勢／ほいく誌紹介	2頁
学童保育紹介／モニター	3頁
全国学童保育研究集会 他	4頁

発行者 千葉県学童保育連絡協議会 船橋市本町3-4-3 千葉保育センター内  
TEL047-424-8102 FAX047-424-8108 e-mail chibagakudo@nifty.com

## 第39回 全国学童保育指導員学校

2014年6月1日(日)神奈川県立保健福祉大学

参加者657名

全体講義：かけがいのない『子ども時代』のために

講師 渡辺恵津子(大東文化大学准教授)

◎午前の全体講義・子どもの時にどんな体験や経験をしたかで、それからどう生きて行くかが決まり、家族関係が壊れていても、周りの人達との関係で救われる。私たちが子どもにとってどんな存在になっていられるか。今、子どもたちの時代に大人として何をしたら良いのか。自分と子ども達との具体的な交流の話を交えながら、話してくれました。皆さん引き込まれるように話を真剣に聞いていました。

◎午後の講座・指導員の基本的な事項を学ぶ「入門講座」。子どもをより深くとらえる「理論講座」では、子どもの発達や教室での子どもたちの様子、毎日の生活でのおやつについて学ぶことができました。「実践講座」では高学年を含めた生活づくりの他、学童保育における安全を考える講座もありました。あそびについては実技で学ぶことができるため、多くの指導員たちが参加をしていました。また、今回は「子ども・子育て支援新制度」により学童保育の制度の改定が行われるため、指導員の地域の連絡協議会との取組が重要になっていることを、「子ども・子育て支援新制度」や「省令基準」の内容と情勢の特徴をわかりやく解説してもらいながら、考えることができました。

横須賀という遠い場所でしたが、千葉県からも多くの指導員が参加していました。また、若い指導員も多く参加していました。

(来年の会場は千葉県です！皆様のご協力をお願いします。)

## 学童保育をめぐる最近の動き



2014年8月29日、厚生労働省、文部科学省、内閣府の来年度予算の概算要求が発表されましたが、年末に判断される消費税10%増税の有無に関わるため、金額が示されません。

＜厚生労働省育成環境課の概算要求＞

厚生労働省の概算要求では、2014年度予算と同額が計上されています。

放課後児童クラブの運営支援302億4400万円、放課後児童クラブの整備29億4700万円で合計331億9200万円です。

14年度予算総額は332億2300円で、3100万円減額になっていますが「放課後指導員等資質向上費」を一般会計に移したためです。ただし、指導員の資格認定のための研修費は、新制度に関わる予算とは別に今回の概算要求で金額が明らかにされて計上されています。「子ども・子育て支援対策事業費補助金」ですが、この補助金には、指導員の認定研修に関わる補助金、現任研修に関わる補助金、子育て支援員に関わる補助金などが含まれています。

学童保育指導員に関わる補助金（認定研修・現任研修）が2億円程度とされています。この補助金は、一般会計で補助率が2分1となります。国が2分の1を負担し、認定研修の場合は都道府県が実施主体ですから都道府県が2分の1を負担することになります。現任研修については、現在ある「放課後指導員等資質向上費」を移行させるもので、政令市・中核市が実施する場合は、政令市・中核市が2分1を負担して実施することになります。単価等は未定です。

「放課後子ども総合プラン」による放課後児童クラブの量的拡充のため、市町村への支援策としての検討事項

- 小学校の余裕教室等の校舎内や、小学校の敷地内又は小学校隣接地に、一体型を中心とした放課後児童クラブ・放課後子供教室を計画的に整備していくため、市町村の取組みへの支援の充実を行う。
- 小学校の余裕教室等の実施場所が確保されるまでの間の当面の措置として、小学校の敷地外の民家・アパート等を活用した場合の賃借料の補助を行う。
- 幼稚園、認定こども園等の空きスペースを活用して、放課後児童クラブの設置促進を図るために必要となる設備費等の補助を行う。
- 小学校の敷地外の放課後児童クラブへの高齢者、主婦等による送迎支援を実施し、小学校の余裕教室が活用できない場合における安全・安心な移動を確保するための補助を行う。

放課後児童クラブ送迎支援事業の創設「放課後児童クラブ環境改善事業の充実」「放課後児童クラブ整備費の充実など」は、現在ある施設整備の補助金を「充実」させるとしているもので、補助単価の引き上げや国の補助率の引き上げなどを検討していくとしています。

## 日本の学童ほいく

日本で唯一の学童保育に関する専門誌です。月刊で発行。1冊330円(送料76円)でお届けします。

学童保育に関するありとあらゆる情報が満載。全国で4万人の人が購読しています。



9月号表紙

9月号特集『子どもにとってのよりよい施設と環境を』です。皆さんにもぜひ読んでもらいたい1冊になっています。

- 今回の特集は「子どもたちにとってよりよい施設と環境を」です。山形市・大阪市・横浜市の学童保育での具体的な取り組みの様子。運営形態などが違う学童保育の施設紹介では、どの学童保育でも工夫しながらの生活や運動への関わりがわかります。「子どもの生活行動から学童保育の施設空間を考える」では、子どもにとってのよりよい施設や閑居のあり方を学ぶことができます。



# わたしたちの学童保育所



八千代市学童保育連絡協議会 会長 工藤よし子

今年度の会長 工藤です。私たちの活動は、子供たちの環境を良くするためにあります。現在、一部の地区では待機児童も出ています。4年生以上の入所可能ですが、八千代市ではなかなか実現できていないという状況もあります。仕事をしているなかでの活動なので、時間も限られますが、学童保育所で過ごす子供たちのため、子供を預ける私たちのため、そして大切な子供たちを預かってくれる指導員の先生たちのためにできることを少しずつ市へと働きかけています。

八千代市学童保育連絡協議会は、社会福祉協議会に業務委託されている16学童保育所と、大和田第3学童保育所（市内保育園を運営する社会福祉法人に委託）の17の学童保育所の父母会（保護者会）が加盟しています。毎年市と懇談会を持ち、市内の学童保育の課題について情報交換や交流をしています。主催合同行事として、学童フェスタ（旧市内合同運動会）を秋に開催しています。地域を越えた交流が出来、久しぶりに保育園や幼稚園が一緒だった友達と再会出来ることもあり、同窓会的な楽しみもある行事になっています。今年は、11月3日（祝）に、市民体育館にて開催します。市内の学童保育をよりよくしようと、各父母会（保護者会）が、役員や学童フェスタ、日本の学童ほいく誌の管理や県連絡協議会議出席、やちよ子育てのつどいなどの係を分担しながら活動をしています。今後の課題は、少子化なのに学童は、児童数が増えている傾向で、スペースの確保の問題や、大型分譲居住区による児童数の偏り、指導員の有資格者配置、何より高学年受け入れ等たくさんありますが、行政・子ども子育て会議を介し子ども達にとって安心・安全で居心地のいい学童を目指し頑張り続けます。



## 「日本の学童ほいく」活動・感想

船橋市学童保育連絡協議会 会長 伏谷智之

8月号には、5月に東京で行われた「これからの学童保育を問う」シンポジウムの報告記事が載っていました。私も実際現地で聴講してきたのですが、記事で振り返ると客観的で、よく理解することができました。私が気にしていたテーマは、近年の、放課後子供教室と学童保育の一体化を目指す動きです。全児童対策事業のおまけ的に「学童保育機能」をつけて学童保育を無くしてしまう自治体があります。当事者の声を知りたいと思っていましたので、横浜の保護者の報告がタイムリーでした。報告にあった横浜市の放課後キッズクラブは学童保育の名に値しない場所でした。すぐに本物の学童保育を探して移ったそうです。子どもが嫌がってやめてしまったら、親はどちらかが職場を辞めなければなりません。いつでも遊べる気心の知れた友達と、いつも自分をわかって寄り添ってくれる指導員がいて、はじめて低学年の小学生は学童保育に通えるのです。

仲間を誘い、一緒に行こう！

## 第49回全国学童保育研究集会 in 岩手

2014年10月11日(土) 全体会 花巻市総合体育館 (花巻市)

10月12日(日) 分科会 岩手大学 (盛岡市)

記念講演 「いのち」をケアし、育むということ-学童保育がつむぐ未来への希望

庄井良信(北海道大学大学院)

今年もたくさんの分科会が開かれます。自分の興味がある分科会をみつけることができます。希望の分科会を選び、1日を通して学習・交流をしましょう。詳細はチラシをご覧ください。

## 2014年度 千葉県学童保育連絡協議会 定期総会

2014年6月29日(日)船橋市文化センターにて、定期総会が開催されました。

会長挨拶、来賓挨拶後、「千葉県連協とは」と題して、各地域の新役員に向けて、県連の年間活動一覧を示しながら、具体的にどのような活動を行なっているのか説明がありました。学童保育をめぐる情勢では、新しい制度の説明が中心でしたが、どの地域も関心が高く、地域報告でも新制度での各地域の報告が中心となりました。決算報告では、処理は適切に行われているものの、活動の活性化と財政基盤安定のための取組が課題となりました。

## 第34回千葉県学童保育指導員学校

日時 2014年12月7日(日)

分科会 午前の部 10:00~12:40

午後の部 13:30~16:10

場所 四街道市文化センター

午前午後の各6講座、1日で12講座を予定しています。今年度は新制度にともない学童保育が大きく動いている年となりました。このような重要な時期に、今後の学童保育の情勢を報告する基調報告を、各分科会のはじめ10分程を利用し、基調報告を行う予定です。分科会内容につきましては、決まり次第随時お知らせいたします。